経営者陣の期待擔って 躍り出た石橋總裁

労働者にどう挑む三郎叔父炉邊対談

三郎　えらくもめていた自民党の総裁問題も公選の結果石橋湛山にきまったようですが、いよいよこの人が政治をやるようになるのですが鳩山さんのときよりも生活はよくなるの…

叔父　まあむつかしいだろうな。何のかわりばえもしないさ。石橋はいま通産大臣だが、吉田内閣のときに大蔵大臣としてすでに試験ずみの人物だし、それで清新な政策は期待できないし、返つてインフレ政策はとることは間違いなくそうすると労働者の生活は、いまよりもつともつと苦しくなると思うよ。

三郎　アメリカとしてはどう思つているだろうか

叔父　うん、石橋が総裁になつたのには一寸おどろいたようだつたが、「われわれは同じボートにのつているのだから」ということで、そう変りはないようだな。

三郎　では叔父さんたち労働者としては悪くなる一方だね

叔父　そうだよ。鳩山は財界から絶縁状をつきつけられて退陣したとも言えるが、こんど石橋は経営者陣の期待を担つた人物だし労働者陣にぶつつかつてくると思わなければならないな。それに彼は重要産業部門のスト規制についても強硬な意見をもつているし、こういうことを考え合せると政府の経営者の労働政策はいまよりさらに過酷なものとなつてくるんだよ

三郎　石橋内閣ができるとこの内閣の見通しはどうだろうね

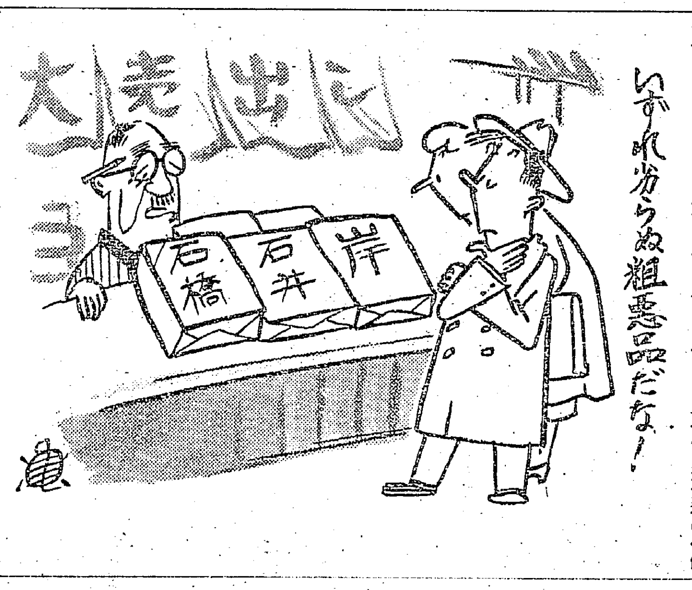
叔父　それはだね、石橋を総裁に指命するまでもめつづけた保守党内の情勢をみてもわかるように、党内の分裂と「石橋短命内閣」を招く誘因は十分にあることはいえる

三郎　一般には岸が当選するだろうと思われていたが、岸が敗れてシコリはのこるだろうか

叔父　それを石橋も重視して、こんどはだれよりもまず岸と手を組むことを考えるだろうし、そういう方向に進むことが考えられるな

三郎　結局こんどの二十日に鳩山内閣総辞職、そして国会で首班選挙をして内閣をつくることになるのですが。どういう顔ぶれになるだろうか

叔父　石橋としては岸と河野を引離すいみからも岸にたいしては一応優遇すると思われるし、そして河野派の取扱いをどうするかがむつかしい問題となるのだ重光外相はやめるという公算が大きいようだな。とにかく石橋にたいして有力な発言権をもつているのは、松村謙三に三木武夫、池田勇人に大野伴睦。それから林譲治というところだな。鳩山内閣の現閣僚は全部一新するはらはみえており、岸、石井両氏を党、内閣の重要ポストに迎えることはたしかだなア。とにかく新しい内閣ができても僅か七票の差で公選されたということは強力な政策というものはまずむつかしいと思われるよ。



猩紅熱

二―七才迄に多い

先週の「ジフテリヤ」に引つづき今週は「猩紅熱」について掲載します

この病気は突然に発熱して発病し咽頭痛、嘔吐とともに全身に発赤、発疹して回復期に皮膚の落屑がある。

急性伝染病ですが、さいさん流行のものは比較的軽症者が多いといわれています。この病気は都会に多く二―七才ぐらいの小児に多く発病します。

①**病原菌**…溶血性連鎖状球菌

②**傳染経路**…咽頭、へんとう腺から菌が入り、ときには皮膚の傷から入ることもまれにあります。このほか飛沫吸入や接触伝染もします。

③**潜伏期**…二日から三日

④**経過**…悪寒、戦りつにより三十九度から四十度の熱を出し頭痛、嘔吐、咽頭のやけるような痛み、嚥下痛、頸腺膨脹するそして口の周囲をのぞいた全身の皮膚に鮮紅色の発疹が出て、全身におよぶ。舌はイチゴ状になる。またうろこ状に皮膚がはがれてきます。

⑤**豫後**…一般によいが、死亡率は二、七%から三、五%

⑥**合併症**…腎臓炎、気管支炎肺炎、中耳炎、関節膨脹

⑦**看護**

◎隔離＝安静（小児は三週間、大人は二週間）にする。

◎食餌＝消化しやすく刺戟性の少いものを与え、熱の高いときは牛乳、果汁などを与える。腎炎をさけるために肉、魚は多く与えないようにする。この場合医師の指示をよくうける。

○うがい＝重曹、食塩一%でするまた吸入もよい。

○氷まくら＝を使用し、氷のうで心臓を冷やす。

○皮膚＝かゆみを訴えたら重曹を入れた温水でふくとよい。

○尿＝分量をはかり、減少すると腎炎のおそれがあるので医師に相談する。とくに回復期には注意しなければならない。

8**予防法**…患者の隔離、患者による接触物、その他の汚れたものは十分間以上煮沸するか、日光消毒をする。また流行時は人混みの中えつれて行かぬようにするとともに、マスクをかけさせ、うがいを励行させるとよい。

短歌（三作文学より）

長見　玖磨
焼鉄を型に合わせて押す作業こころ豊かに今日はげみたり

鉄さびによごれたる両掌見せ合えり指紋つぶれしわれらの指頭　岩山　光義

貝取りの人列なして帰りくる道一筋に暮れゆく干潟　長谷川喜一

前向きの歌をつくれと言ふ声がのこりて心あたたまりおり　永松　運造

汗ふけばやや痩せたりと思ひつつ給料袋を妻にわたしぬ　江上　輝広

ぬれ土の上に降りたちゐたりけり自信といふもののなき「日日」　松田　賢介

あどけなき寝顔をわれに向けてをり空洞を持つ隣ベツドの少年

手さぐりて床頭のラジオ切りしより暗闇にわが寝ずまいを直す

―歴史小説―

年貢三年御免

江口　渙
風間　完（画）

山のすそを廻つて、長州の萩から石見の浜田につづく街道がとおつている。街道には山をうしろにして、大きな高札が立つている。夜霧があるので、月は見えないがお盆の十五夜のせいか、うす明りで高札の字は読める。

『是より西、長州領、年貢三年御免　慶応寅年孟夏吉日』と、ふとい字で書いてある。

近年、この辺は徳川幕府の長州征伐で、軍隊がいつたりきたりするので、百姓がこまつている。とくに、遠方からきた幕府の軍隊の荒し方はひどい。年貢をむやみに重くする。米、ミソから芋類まで手あたりしだいさらつてゆく。ただで人足にこき使う。女を荒す。『もう、戦争はまつぴらだ』と、思わない百姓はいない。ところが今年の長州征伐は、長州軍の方がすごく勢がいい。きのうもこの和田村をやすやすと占領すると、幕府の方はあわてて山向うの益田村まで引きさがつた。そこでここにこの高札が立つたのである。

夜がふけると霧が一だんとふかくなつた。その中を十五、六の人影が、益田村から和田村の方へ動いてゆく。人影は街道ぞいの田んぼの中をはうように動く。ハダシでフンドシ一つの姿が百姓らしい

人影は高札の下まできた。しばらくこわそうにあたりの様子をうかがつていたが、声も立てずに、四、五人で高札をひつこぬいた。と思うと、それをかついで、こんどは街道の上を、益田村の方へ、一せいにかけ出した。

夜明け前だつた。長州軍の前しよう部隊で、高札のなくなつたことがわかつてさわぎ出した。

「敵の野郎よくも夜中にぬけぬけとかつぱらつてゆきやがつたな」

組頭の小松大一郎が、歯ぎしりをしてくやしがつた。毎日の勝いくさに、安心してついぐつすりねてしまつた。そのすきに鼻毛をぬかれた形である。

「こうなつたら仕方がない。いまから敵陣にきりこんで、いのちにかけても取りかえそう。これでは隊長どのに面目がない。みんなついてこい」

小松が抜身で先頭にすすむ。二十人ばかりがあとにつづく。益田村へ越える峠ののぼり口までたどりついたときには、夜が明けた。見ると、坂の途中に、ゆうべなくなつた高札がちやんと立つている。峠の上にはもはや敵の影も見えない。

「おや。へんだな。どうしたんだろう」

小松は高札の下に立つてふしぎそうに字を見上げた。

夜中すぎまでは、峠の上に幕府方の、しんがり部隊の見張がいた。峠の下で何か人の気配がしたのが眠い眼にもわかつた。と、思つたら、まもなく坂の途中に、見おぼえのある長州方の高札が、にゆうと立つのが、霧のはれた月明りで見えた。

おどろいた見張は組頭をたたき起して報告する。組頭はまた隊長駒地亘理之助に報告する。

「そりや大へんだ。夜討ちだ。用心のために一とまず後にさがれ」

隊長の声と一しよに、しんがり部隊は、われもわれもと逃げはじめた。しんがりが逃げたとしると、つぎの部隊も、そのまたつぎの部隊も逃げた。みんなぞろぞろと逃げて、夜が明けた頃には、三里も逃げて、周布村まで引きさがつていた。小松大一郎が抜身で峠の上に立つたとき、どうにも敵を見なかつたのはそのためである。

その日は高札を益田村の向うの出口に立てた。その晩もまた高札は、いつのまに周布村の入口までもつてゆかれた。幕府方は、またまたおどろいてつぎの村まで逃げた。それが毎日毎晩くりかえされた。ひどいときには高札が一と晩に四里も五里も動いてゆく。そして、それだけ幕府方は退き長州軍が前進した。

高札をないしよで夜中に運ぶのは、みんなその辺の百姓だつた。長州領になりさえすれば、年貢が三年も免除になる。荒されきつた百姓にとつて、こんな有難いことはない。早く長州領になりたいからである。

こうして幕府の第二回長州征討軍、石見口の前ぞなえ、征討大総督、紀伊中納言どのの御名代、安藤ひだの守の軍勢は、毎日毎日退却し、長州軍はほとんど戦わずして石州浜田の城をのつとることができた。

これは長州のナポレオンといわれた軍師大村益次郎の考え出した戦術だつた。「百姓を味方につけることができない限り、革命のいくさに勝つことはできない」これが大村益次郎の信念だつた。

（おわり）

―映画紹介―

こぶしの花の咲くころ

写真はその一カット（右 中原 左 川崎）

山の発電所の舎宅に住む楽しい一家。近藤のチビ俊子は、十八才の春を、もてあましぎみだ。やつと、町の知りあいに頼んであつた就職口の知らせがあつた。電文のビヨウインとは、病院ではなく、美容院だつた。それでも俊子は大よろこび、お父さんに励まされ、お母さんに見送られて、こぶしの咲くふるさとの山から、胸おどらせて実社会にとび出した。

知り合いの原田さんは、かなり大きな町の老舗だ。大学生の原田章一が駅に出迎えたが、うつかりすれ違つてしまつた。

俊子が住みこみで勤めたのは、マイデア美容院。

世の中というものは、見ると聞くでは大違い。俊子は毎日びつくり、毎日失敗の連続だ。朝は九時から夜の八時まで立ち通しで、月給は五百円。それが美容師見習俊子が始めてのお給金だつた。

マダムお気にいりの川田は、金持ちの息子に失恋してから、今ではコツコツと貯金して、美容院を始める日を楽しみに、……そして吉崎は、映画スターを夢見ていじらしい努力を重ねている。みんな貧しい家からの娘たちだ。俊子はよねちやんや坂本少年と話し合つて、夜の勉強会を始める。

月一度の定休日には、原田章一にあう。俊子も馬に乗つて最高の解放感に酔い、そして青春の純粋について語りあつた。

しかし、マイデア美容院は、景気が悪くなるばかり。デパート美容部におされ、新しい機械の借金税金の滞納と、マダムのヒステリーはみんなの上にふりかかつて来る。そこで、俊子は二割引サービスのビラまきを思いつき、まつ先に街頭に立つ。だが、二割引週間は忙しかつただけで給料は遅配するし、よねちやんは寝こんでしまう。

よねの身を案じた俊子は、彼女をふるさとの母親のもとへ帰すように計らつた。だが、それはよねのうらみを買うばかりだつた。また俊子は、ニューフエイスの写真選考に落ちてがつかりする吉岡を原田章一が愛用している8ミリ映画に〃出演〃させる。

吉岡と俊子が大熱演する映画会を終業後のお店でひらいたところ帰宅したマダムがカンカンに怒つた。みんなの日ごろの不満は自然に爆発した。そうだ、ストライキをやろうと一決、理髪部の坂本もモチロン参加する。だが翌日朝になると、北山や庄司に言い負かされて、一人へり、二人へり、ストライキ組は、遂に俊子、吉岡、坂本だけになつた。とほうにくれて俊子は章一に相談に行くが、意外にも章一は冷たかつた。

裏切られ、絶望した俊子が重い心で美容院にもどると、坂本がマダムを前に「俊子さんだつて仲間だ、章一さんだつてついているんだ。――」と、いきまいていた。

しかし「もつと、よく考えようよ」と、意外な俊子の言葉に、坂本は思わず俊子をなぐりつけ、憤激して店を飛び出してしまつた。よねちやんも肺炎をおこして死んだという。俊子は、すつかり混乱した。

ラム解答　38通

（特異）児童がいつの間にか（和製）ゴツホになりそれが（画伯）から名士へと（山下）君は飛躍した津々浦々（梅原）や（安井）お知ら

今回は残念ながら正解者は一名もありませんでした。とくに最後の名士は大将や画家、山下が多く一名も正解なく、つぎに

※前回で一応このヤマ・グラムは中止しました。新年号より新しい企画でつぎのクイズを掲載することにしています。